

E-Oral Presentation | 集中治療・周術期管理/対外循環・心筋保護

## E-Oral Presentation 4 (I-EOP04)

Chair: Masahiko Nishioka (Department of Pediatric Cardiovascular Surgery, Okinawa Prefectural Nanbu Medical Center & Children's Medical Center)

Fri. Jul 7, 2017 6:00 PM - 7:00 PM E-Oral Presentation Area (Exhibition and Event Hall)

6:00 PM - 7:00 PM

### [I-EOP04-02] 動脈管依存性心疾患新生児における PGE1 使用中の経腸栄養

○嶋 侑里子, 黒崎 健一, 廣田 篤史, 塚田 正範, 三宅 啓, 坂口 平馬, 北野 正尚, 白石 公 (国立循環器病研究センター 小児循環器科)

Keywords: 動脈管依存性心疾患, 経腸栄養, 壊死性腸炎

【目的】手術前の早期経腸栄養 (EN) 開始が術後早期回復において有益であるとされている。しかし動脈管依存性心疾患新生児の PGE1 使用中における経腸栄養に関し明確な指針は無い。当院での経験を調査検討した。【方法】2015年1月から2016年12月までの間に入院した動脈管依存性心疾患新生児73例を、PGE1 使用目的から 1) 体循環維持、2) 肺循環維持、3) 動静脈血混合、4) その他の4群に分け PGE1 使用下 EN について後方視的に調査検討。また壊死性腸炎等の消化管合併症について調査した。【結果】1) 体循環維持目的での PGE1 使用例は 34例で、疾患内訳は HLHS、CoA、IAA等。術前の EN は 29例 (85%) で、内 22例は日齢 2 以内の開始。最大摂取量は中央値 33 (範囲 1-166) ml/kg/d。5例は術前 EN 無し (ductal shock が 2例と restrictive FO が 1例、高肺血流による心不全が 2例)。中断例は 5例 (肺鬱血による呼吸状態の悪化が 2例、腹部膨満が 1例、血圧不安定が 2例) で、EN 期間は 5 (2-9) 日であった。2) 肺循環維持目的は 27例で、疾患内訳は PA、PA/IVS、PS、TOF 等。全例で術前 EN が開始されていた。最大摂取量は 147 (60-219) ml/kg/d。EN 中断は 4例 (high flow shock が 2例、心不全が 2例) であった。3) 動静脈混合目的は 11例全例が TGA で、術前の EN 開始は 10例 (91%)。中断例はなく、EN 非開始例は低血圧で早期手術介入であった。4) その他は静脈管開存目的の TAPVC (下心臓型) 1例で、術前 EN 開始。EN は全例 SMA ミルクを使用。壊死性腸炎発症例はなく、EN 中断例での消化器症状は 1例のみ。【考察】PGE1 使用下の動脈管依存性心疾患においても、EN は安全に導入可能である。ただし高肺血流に注意し、心不全兆候があれば速やかな中断を要す。特に体血流依存型には慎重な判断が求められる。